

抗ヘルペス薬が保険適用外のため、多くの方が  
高額な医療費に苦勞されています

## 「ヘルペスとの長い戦い (リウマチ性多発性筋痛症・糖尿病手記)」

匿名希望 61歳

2015年12月17日

### <病のはじまり>

私は今まで健康体で風邪もほとんどひいたことがないのが唯一自慢でした。2012年11月下旬、38度前後の発熱があり、近くの医院を受診したところ、風邪との診断を受けました。処方された抗生剤・消炎鎮痛剤などを内服し、3日ほどで軽快しました。その後1、2週間ほどした頃より、朝起きた時に背中や腰、脚や腕など体のあちこちの筋肉に痛みを感じるようになりました。はじめは「熱のせいかな？」と思い、湿布薬を貼り続けました。

しかし、日に日に痛みは強くなり、痺れも現れたため、整形外科を受診しました。レントゲン・CT・血液検査などを受けた結果、リウマチ性多発性筋痛症であろうと診断され、痛みと痺れの緩和のためにプレドニゾロンが処方されました。プレドニゾロンはステロイド薬だと知っていたので、はじめは怖かったのですが、飲むと今までの痛みが嘘のようにとれたので、一年間ほど飲み続けました。

しかし、はじめは軽量5mg（3回/1日）1錠のプレドニゾロンだけでとれていた痛みが少しずつ効かなくなり、プレドニゾロンの量が2錠、3錠と少しずつ増え、ボルタレン座薬や腰部硬膜外神経ブロックを併用するようになりました。

しかし段々と1日1個で済んでいた座薬が2個、3個と必要になっていき、家でも職場でも座っていることが出来ず、立っているか横になるかしかできなくなりました。食事もまともにとれず仕事にも行けなくなりました。

薬を使っても、使っても消えない痛みや痺れに恐怖を感じ、大学病院から専門医まであらゆる病院に行きましたが、どこに行っても同じステロイド薬の治療しかないと言われました。まだ61歳、孫の世話や友達との旅行など、これ

からの楽しみがすべてなくなり、絶望と不安、消えない痛みへの恐怖を感じる地獄のような毎日でした。

#### <先生との出会い、初めての東洋医学>

そんな折、インターネットで、ある方の手記を目にし、松本医院を知ることになりました。はじめは半信半疑だったのですが、いろいろな方の手記を読み、「西洋医学での治療は薬漬けでよくならなかった。東洋医学にかけてみるしかない」と思い、2014年4月11日、松本医院を受診しました。

待合室で待っている間は、初めて嗅ぐ漢方薬の臭いに不安でいっぱいでしたが、先生にお会いして「病気は治る。自分の免疫力で治すんや。」という言葉聞いた結果、先生を信じてやってみようと思いを決めました。

その日を機に、今まで内服していたステロイド薬、消炎鎮痛剤を一切やめ、鍼・お灸・漢方風呂・漢方煎じ薬・抗ウイルス薬による治療を始めました。

#### <治療の過程、経過>

治療が始まり、初めに襲ってきたのは離脱症状でした。いままでステロイドや鎮痛剤でおさえていた痛みや痺れが全身を襲いました。トイレへ歩くこともままならず這っていき、下着を下ろすことも上げることもなかなかできず、服を着替えるにも肩や腕、腰や脚が痛くて動かせず、一人では何もできなくなり寝たきり状態になりました。寝ていても腰や腕が痛くて寝返りも出来ない、体をまっすぐに伸ばすことも出来ず、朝布団から起き上がるのにも1時間以上もかかるような毎日でした。ヘルペスとの長い戦いの始まりでした。

私は、ステロイドを何年か飲んでいたり、神経ブロックの際に使用していたこともあり、なかなか痛みがとれず長く苦しみました。受診の時、待合室で座っていられず横になって待つこともありましたが、少しの変化に一喜一憂しながら、漢方薬を煎じ、お灸をする毎日でした。ひどく落ち込むこともありましたが「病気は治る、自分の免疫力で治すんや」と先生に言われたことを思い出し、自分への励みにしました。

10か月ほどしたある日、指や肩の痛みが少し和らいでいることに気が付きました。朝起きるときも以前ほど時間がかからなくなっていました。この頃ようやくヘルペスの値が少し下がってきました。少しずつ家事など身の回りの事や、お風呂で体を洗うこと、寝返りも出来るようになりました。本当にうれしかったです。ステロイドを飲まなくても痛みが軽く済んでいることに感動しました。

#### <現在>

現在通院し始めて20か月目、まだ腰や脚に痛みがあります。しかし、杖を使って少し歩き、スーパーで買い物が出るまでにはなりました。ゴールも近いのかなと思っています。

私は糖尿病の持病があり、血糖降下剤を内服していましたが、血糖値は高め

でした。この治療を始めるにあたり、食事指導も受け、主食（ごはん・パン・麺類など）を控え、タンパク質と野菜中心を心がけたところ、血糖降下剤を飲まなくても血糖値は正常値になっています。

この治療の一番の不安は毎回の高額な治療費です。私の場合、2週間毎の受診で2～4万円ほどの支払いになりました。抗ウイルス薬は1錠だいたい100円ほど、1日10錠2週間分でもかなり高額になります。風邪などは受診しても保険が適応され、負担額はせいぜい数千円で済みます。松本先生の治療を受けたくても毎回高額な治療費となると、なかなか続けるのが大変です。私も失業し治療の継続に悩んで、あと少し、あと少しと今日まで続けています。一日も早く保険が改定され、保険適応となり、より多くの方が治療を継続していけるような環境になることを切に願っています。

#### 2014年

	4/11	5/14	6/25	7/30	8/27	9/24	12/19
CRP	0.05	0.29	0.44	0.98	0.22	0.24	0.06
血沈	11	40	30	67	26	15	18
HSV	37.8	45.7	50.7	41.2			47.1
血糖	130	111	126	101	104	94	96

#### 2015年

	2/18	4/7	5/27	7/22	8/25	9/30	10/28	11/25	12/16
CRP	0.05 以下	0.07	0.05 以下	0.06	0.06	0.06	0.06	0.1	0.05 以下
血沈	13	16		10	12	1	15	16	17
HSV	39.5	42.5	31.1		44.6	56.4	56.5		
血糖	101	95	109	102	107	116	109	103	117